

番号	25 - 30	申請者	神経内科医長 西田 泰斗
<p><b>【審査申請課題】</b></p> <p>「輸血拒否患者(73歳、男性)における気管切開術施行について」</p>			
<p><b>【審査課題の概要】</b></p> <p>呼吸不全により気管内挿管を受け、本院より移動不能な筋ジストロフィー患者に対し、気管切開術を施行する。本患者はエホバの証人にて赤血球・白血球・血小板・血漿の輸血拒否を信条としている。気管チューブは二週間以内の交換が必要であるが、経口よりの気管チューブの入れ替えは非常な危険を伴うため、気管切開が必要である。気管切開術施行中に動脈等を破損し出血量が多量となる際は、輸血が必要であり、輸血を行わなければ術中死や重篤な後遺症を残す可能性がある。</p>			
審査結果	承認 (平成25年12月10日)		